

災害を考える

〜能登半島派遣職員より〜

昨年久留米市で起きた豪雨災害では、全国からボランティアの皆さんが駆けつけてくれました。また、災害ボランティアセンターの運営においては、企業、団体、NPO法人や、他市町村の社会福祉協議会の職員など、たくさんのご支援をいただきました。

今年の元日、最大震度7を観測した石川県能登半島の大地震。遠く離れた私たちにも、大きな衝撃をもたらしました。微力でも被災地の力になるべく、市社会福祉協議会からも応援職員を派遣しました。

地域福祉課

藤岡 誠

私は、令和6年5月2日〜8日にかけて、奥能登地方の石川県珠洲市に支援に入りました。発災から4か月近く経っているにも関わらず、ようやく水道が通った地区や、地震により倒壊したままの家屋が多く存在する地区もあり、以前の暮らしに戻るにはかなりの時間が必要という印象でした。

珠洲市の災害ボランティアセンターでは、ボランティアの依頼先と派遣するボランティアを調整するマッチング業務を行いました。



車内からみた被災地の様子

依頼される作業の多くは、がれきや家財の撤去、室内清掃が多く、倒壊家屋への支援については、二次被害が懸念されるため、一般のボランティアは派遣せず、専門的な技術を持ったボランティアが支援をされていました。

災害ボランティアセンターを運営する職員の中には家族や仲間を亡くされたり、仮設住宅へ避難している人

市社会福祉協議会の取組み

もおられ、当事者でありながらも復旧に向けて懸命に取り組まれているのがとても印象的でした。

久留米市も、いつどのような災害が起こるかわかりません。市社会福祉協議会では、一定規模以上の災害が発生した際に、市との協定に基づいて、災害ボランティアセンターを開設します。そこでは、ボランティアの皆さんの協力を得て、自力では生活復旧が困難な被災者のお手伝いを行います。開設が決まったら、チラシ配布や市社会福祉協議会等のホームページでご案内します。

では、つながりづくりについて地域の皆さんと一緒に考えています。災害ボランティアに関する、地域福祉活動に関することなどは、お気軽にご相談ください。

また、日常の中でできる防災の取組みとしては、地域の人とのあいさつや地域行事への参加といった普段からのつながりづくりがあります。市社会福祉協議会



【問い合わせ】

市社会福祉協議会

地域福祉課

TEL0942-34-3003
TEL0942-34-3005
FAX0942-34-3009